

令和 3 年度 ゆうゆうくじら保育園における自己評価

評価をするにあたっては、以下のような基準で行っています。

- A 理想的な状況にある状態
- B 通常行われている状態
- C 一部改善・あるべき姿に到達していない状態

I 保育理念

1. 子どもの最善の利益の考慮

項目	内 容	評価	意見・改善策
子どもの人権の尊重	子どもの人権に十分配慮すると共に、一人ひとりを大切にする保育を行っている	A	職員会議やミーティングなどで、安心安全な保育につながるよう共通理解を深めながら保育実践している。
保育方針・保育目標	保育理念・指針・保育目標について理解し作成している。	B	

II 子どもの発達援助

2-1 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

項目	内 容	評価	意見・改善策
健康・安全で心地よい生活	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がされている	A	それぞれの子どもの育ちを受け止めながら、子どもの主体的な遊びを促していけるよう関わりや言葉かけを、検討した環境を考慮している。
子どもの主体的な生活	子どもの主体的な遊びを尊重している	B	
人とのかかわりを育む環境	遊びや生活を通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮している	B	

2-2 生活と発達の連続性

項目	内 容	評価	意見・改善策
子ども観・発達観の理解と共有	保育指針や理念を理解し、子どもを愛護しながら育むことを共有している	A	「和顔愛語」を心がけ、家庭環境や個人差、年齢による発達に寄り添った保育を日々心掛けている。
発達過程に応じた保育	発達過程を踏まえ、保育過程を作成し、保育している	A	
個人差への配慮	一人ひとりの子どもの発達に配慮している。プライバシーへの配慮がされている。	A	
生活への連続性	長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	B	

2-3 養護と教育の一体的展開

項目	内 容	評価	意見・改善策
乳児保育	乳児保育のための適切な環境が整備され保育の内容や方法が配慮されている。	A	縦割り保育「くじらっこ」を計画的に実践しながら子供たちの主体的な遊びとどのように関連付けていくかを考えている。小学校との連携は計画をしたが、コロナ感染状況で計画したが実行できなかった。中学校とは広い校庭で工夫をしながら実行した。保護者の保育参観も少なかった。
1・2歳児の保育	1.2歳児保育のための適切な環境が整備され保育の内容や方法が配慮されている。	A	
3.4.5歳児の保育	3.4.5歳児保育のための適切な環境が整備され保育の内容や方法が配慮されている。	A	
小学校との連携	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮している。	B	

2-4 環境を通して行う保育

項目	内 容	評価	意見・改善策
・ 保育の環境 人的環境・物的環境・空間・自然や社会現象	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A	日常の保育の中で、子どもたちの一喜一憂する姿や、その時発声した言葉など、成長していく段階の変化等を保育士がキャッチできるようなかかわりを大切にしていきながら、保育の環境を整えていきたいと考え模索しながら実践している。
	子どもが基本的な生活習慣を身に付け、積極的に活動ができるような環境が整備されている。	A	
	子どもが自発的に活動ができる環境が整備され、身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがされている。	A	
	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	B	
環境の構成 ・再構成	快適な環境に整備や空間を使つての工夫がされている。	B	

III 保護者に対する支援

3-1 家庭との緊密な関係

項目	内 容	評価	意見・改善策
子どもの成長の喜びを共有	子どもの成長について日々、保護者に伝えるなど情報を共有し、成長を喜び合い、共有できる機会を設けている。	A	情報やお知らせ等は、一斉メール・ICT機能を使用しタイムリーに情報共有してる。Zoomによる説明会や懇談会等を実施している。相談等は、個別に丁寧に対応することを心がけている。
保育内容等の説明 応答責任	入所時、懇談会、保護者参加等の機会をとらえ、説明・応答する機会を設けている。	A	
子育てに関する相談 援助	相談・苦情・意見などは、随時園長・主任が窓口になり対応している。	A	
保護者への個別支援	一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援している。	A	

3-2 地域における子育て支援

保育所の機能の開放	公開保育や電話相談、交流保育など子育て支援のための取り組みを行っている。	B	コロナ禍ではあるが、人数制限等しながら子育て支援センターを実施した。掲示板等活用しながら情報提供をしている。近隣の保育所、小学校との交流を計画したが、公開保育等もできなかった。
関係機関との連携	保育所としての必要な社会的資源を明確にし、地域の関係機関との連携が適切に行われている。	B	
情報提供	保育所が有する機能を地域の子育て支援に関する情報提供をしている。	B	

IV 保育を支える組織的基盤

4-1 健康及び安全の実施体制

項目	内 容	評価	意見・改善策
健康の保持及び増進	全職員が健康及び安全に関する共通理解を深め、適切な分担と協力の下に年間を通じて取り組んでいる。	A	保健リーダーによる、季節ごとの保健だよりの発行。毎日の欠席者の状況や流行している病気等を、ICTを活用し保護者に発信をして注意喚起している。
安全・衛生管理	完全管理のマニュアルがあり、緊急時に備えた安全対策が実施されている。	A	
	施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている。	A	
家庭や保健・医療機関等との連携	安全対策のために職員への共通理解，体制作りを図るとともに家庭や書記官との連携をとっている。	A	

4-2 職員の資質向上

項目	内 容	評価	意見・改善策
保育の計画	保育課程・年間計画も基づき、月間計画・週案・日案及び個人の計画を行っている。	A	職員の自己評価は年2回行っている。研修リーダー・保育リーダーが中心になり計画的に研修を実施している。
保育士等の自己評価	保育計画に添い自らの実践と、子どもの育ちを振り返り、自己評価を行い、保育の改善を行っている。	B	
保育所の自己評価	自己評価表に基づき、行っている。	A	
研修	外部研修・園内研修など職員に応じた研修を行い、資質の向上に努めている。	A	

4-3 運営・管理、社会的責任

項目	内 容	評価	意見・改善策
法令等の順守	順守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	埼玉県及び上尾市からの法令の改定、社労士より専門的なアドバイスを得て職員及び保護者へ必要な情報を提供しその都度周知を行っている。
個人情報の取り扱いと騎乗解決の責任	個人情報の取り扱いは、誓約書で確認し、苦情・意見などは随時園長・主任が窓口となり解決に向けて対応している。	A	
施設長の責務	自らの役割と責任を明確にし、理解を図っている。	A	